

◇家庭学習を習慣化させるには

【Q】 小学校6年生の男子の保護者です。息子は毎日宿題には取り組んでいるものの、それ以上の学習はせず、中学校で授業の復習などができるのだろうか心配しています。

息子に理由を聞くと、「宿題以外はやりたくないし、遊ぶ時間が減ってしまう。」といった言葉が返ってきます。親としては家庭学習の習慣を身につけ、自分で学ぶ楽しさを知ってほしいと願います。何かよい方法はありますでしょうか。

【A】 子どもたちにとって、学習を継続するためには、それを「楽しいもの」と感じる事が重要です。次のようなポイントを意識して働きかけてみてはいかがでしょうか。

①授業ノートの工夫

お子さんの授業ノートを見ていますか。学校の授業内容を把握したり、お子さんの学習の様子を知ったりするためにはノートを見るのがとても有効です。もしお子さんが板書の内容だけを記入しているようでしたら、「自分で考えたことや、疑問に思ったことをメモしてごらん」とアドバイスしてあげてください。授業を静かに聞いて、黒板の字を写すことも大切ですが、頭の中で深く考えたことをメモしていくことはさらに重要です。宿題で行っていることが、ドリル学習中心でしたら、自主学習でそのメモを頼りに調べ学習を行ったり、自分なりの考えを文章にまとめたりするようしてみてください。ご家庭でも、そのメモや考えを積極的に称賛したり、逆に質問したりすると、さらに深い学びになっていくと思います。

②親子学習時間の視点を変える

小さいお子さんであれば、テレビを見ていて、「どういう意味。なんで。」と聞いてくることも多いかと思いますが、実はこれがチャンスです。子供たちの頭の中は「知りたい。なぜだろう。」といった知的好奇心でいっぱいです。ご両親自身で答えてあげることも大切ですが、それ以上に、一緒に調べることをお勧めします。また、「この本読んでごらん。」とか、「辞書になんて書いてあるかな」というように、日常の生活の一部を学習に置き換える工夫はいかがでしょうか。机に向かって取り組む学習と併せて行っていくと「学ぶ楽しさ」を日常生活から感じる子になることでしょう。

③学習の足跡を残す

もう一つ大切なポイントは、学習した足跡を残すことです。例えば、家庭学習ノートが1冊終わると、自分でやり遂げた喜びが感じられます。あまり分厚いノートだとなかなか終わらず、達成感が得られにくくなります。最初は薄いノートから初めて、何冊終わったかで振り返りを行ってもよいでしょう。

一度にたくさん行おうとせず、1日1ページ、あるいは1週間で5ページくらいのペースで行います。ノートが進むにつれて、毎日の積み重ねが目に見える形になります。はじめのうちは内容や方法が深まらなくても、続けていくうちに自分だけの「マイ学習ノート」ができ上がっていくことを期待しています。